

2010年 第4問

1枚目 / 2枚

数理
石井K

4 k と l を実数の定数とし、 x に関する方程式

$$x^4 - 2(k-l)x^2 + (k^2 + l^2 - 6k - 8l) = 0 \quad \dots\dots ①$$

を考える。このとき、次の問いに答えよ。

- (1) 方程式①で $k=2, l=1$ としたときの解を求めよ。
- (2) 方程式①が実数解を持たないための必要十分条件を k と l で表せ。
- (3) 方程式①の異なる実数解の個数が3つであるような実数の組 (k, l) を座標平面上に図示せよ。
- (4) 方程式①の異なる実数解の個数がただ1つであるような整数の組 (k, l) をすべて求めよ。

(1) ①に $k=2, l=1$ を代入すると。

$$x^4 - 2x^2 - 15 = 0 \quad \therefore (x^2 - 5)(x^2 + 3) = 0 \quad \therefore \underline{x = \pm\sqrt{5}, \pm\sqrt{3}i} //$$

(2) $t = x^2$ とおくと、($t \geq 0$)

$$① \text{ が実数解をもたない} \iff t^2 - 2(k-l)t + (k^2 + l^2 - 6k - 8l) = 0 \quad \dots ②$$

が0以上の実数解をもたない。

\iff 判別式を D とおくと。

$$D < 0 \text{ または、(軸} < 0 \text{ かつ } f(0) > 0)$$

$$\iff D/4 = (k-l)^2 - (k^2 + l^2 - 6k - 8l) < 0$$

または、

$$(k-l < 0 \text{ かつ } k^2 + l^2 - 6k - 8l > 0)$$

$$\iff -2kl + 6k + 8l < 0$$

または

$$(k < l \text{ かつ } k^2 + l^2 - 6k - 8l > 0)$$

答え方は1通りではない
(答えは複数あり)

$$\iff \underline{kl - 3k - 4l > 0 \text{ または } (k < l \text{ かつ } k^2 + l^2 - 6k - 8l > 0)} //$$

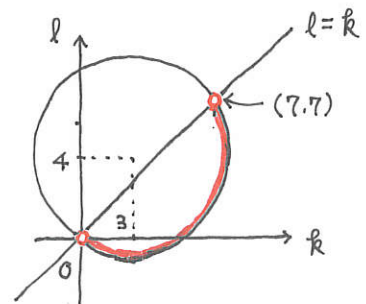
(3) $f(t) = 0$ が $t=0$ と正の解をもつときなので

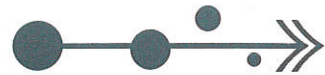
$$f(0) = 0 \text{ かつ 軸} > 0$$

$$\therefore k^2 + l^2 - 6k - 8l = 0 \text{ かつ } k-l > 0$$

$$\therefore (k-3)^2 + (l-4)^2 = 5^2 \text{ かつ } l < k$$

\therefore 右図の赤線部分 $(0,0)$ と $(7,7)$ は含まない





2010年第4問

2枚目 / 2枚

数理
石井K4 k と l を実数の定数とし, x に関する方程式

$$x^4 - 2(k-l)x^2 + (k^2 + l^2 - 6k - 8l) = 0 \quad \dots\dots ①$$

を考える. このとき, 次の問いに答えよ.

- (1) 方程式①で $k=2$, $l=1$ としたときの解を求めよ.
- (2) 方程式①が実数解を持たないための必要十分条件を k と l で表せ.
- (3) 方程式①の異なる実数解の個数が3つであるような実数の組 (k, l) を座標平面上に図示せよ.
- (4) 方程式①の異なる実数解の個数がただ1つであるような整数の組 (k, l) をすべて求めよ.

(4) $f(t)=0$ が 0 と 0 以下の解をもつとき $(0(\text{重解}) \text{ または, } 0 \text{ と負の解.})$
 なので:

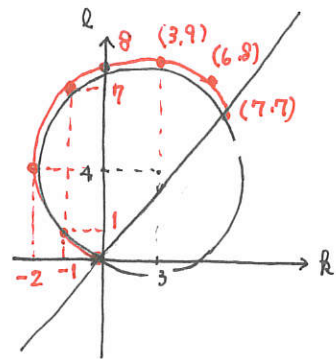
$$f(0) = 0 \quad \text{かつ} \quad \text{軸曲} \leq 0$$

$$\Leftrightarrow k^2 + l^2 - 6k - 8l = 0 \quad \text{かつ} \quad k - l \leq 0$$

$$\Leftrightarrow (k-3)^2 + (l-4)^2 = 5^2 \quad \text{かつ} \quad l \geq k$$

\therefore 円周上の点で (3) で求めた反対側となる.

このとき, $-2 \leq k \leq 7$ であるから, 各 k について調べると.



$$(k, l) = (-2, 4), (-1, 1), (-1, 7), (0, 0), (0, 8), (3, 9), (6, 8), (7, 7)$$

補足

各 k について調べるとは,例えば $k=5$ のときは,

$$k^2 + l^2 - 6k - 8l = 0 \text{ に } k=5 \text{ を代入して}$$

$$l^2 - 8l - 5 = 0 \quad \therefore l: \text{整数とならず, 不適.}$$

 $k=6$ のときは,

$$l^2 - 8l = 0 \quad \therefore l(l-8) = 0 \quad l \geq k \text{ より } l=8 \quad \therefore (k, l) = (6, 8)$$

というように調べればよい. もちろん図形的に明らかな点は省略してよい.